



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y's MEN'S CLUBS
TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANI EVER RIGHT

The Y's Men's Club of Kyoto Tops



倉卓也会長主題：『あしたのために』～一歩一歩を大切に～

- 国際主題 Once More We Stand 心新たに立ち上がろう
- アジア区主題 Once More We Stand 心新たに立ち上がろう
- 西日本区主題 飛翔たとう ワイズスピリットを胸に 泰然自若の精神で
- 京都部主題 ワイズにビジョンを、思いやりと共に ～世界のワイズが輪になって～
- メネット主題 「愛の心」～原点に立ち返って私たちに出来ること～

- 会長：倉卓也
- 副会長：新山 堅一
谷川 武繁
- 書記：藤田 正康
笠井 俊明
- 会計：東田 吉未



狭い門 (ルカ13 24)

千賀 俊男 ys選

狭い門から入りなさい。滅びに通じる門は広く、その道も広々として、そこから入る者は多い。しかし、命に通じる門は何と狭く、その道も細いことか。それを見出す者は少ない。



「京都NO1クラブを目指して」

牧野 充記 ys

前期EMC委員長の河原正浩ワイズが、トップスクラブの歴史を変えるべく6名同時入会という偉業を達成され、明らかにクラブ全体の「空気」が大きく変わりました。今期EMC委員長として課せられた最大の課題は、「この流れを加速させる」事であると考えています。ビジネスでも同じで、産業単位でも、事業所単位でも必ず導入期→成長期→成熟期のサイクルがあります。

トップスクラブのステージは明らかに、前期から「成長期」に突入しています。この成長を加速するために具体的目標として「最低10名以上のメンバー増員」を今期中に達成させる事にあります。この目標が達成できれば必ずその先には「京都NO1クラブ」が見えるはずで、私が思うNO1とは、人数や規模だけではありません。「中身」が伴う事です。では「中身」とは何か？それはトップスクラブにすでに存在している「魅力」に答えがあると思います。その「トップスの魅力」とは「個々の人間力とメンバー間の絆」にあります。私がこのトップスクラブに入会させていただき本当に喜びを感じているのは、その「絆の輪」に入れた事です。新しく入会されたメンバーの皆さんも、出来るだけ早く「絆の輪」に入って来て下さい。必ず私が感じている「トップスの魅力」を感じていただければと思います。

そして全メンバーの皆さんにお願いです。今期は毎月の例会に多数のメンバーゲストが参加されます。この新しい出会いに感謝し、出来るだけ親睦を深め人間関係を構築する努力をして下さい。そして一人でも多くの方に「トップスの魅力」を感じていただき更に「輪」を大きく広げて行きましょう！この「輪」が京都最大の人数になった時、トップスクラブは、本物の「京都NO1クラブ」になります。私は近い将来必ずこの日が来る事を確信しています。メンバーの皆さん全員が、その意識を強く持ち共通の目的に向かい本気で達成しようではありませんか！時代はトップスです。

エコ標語

「暖簾が揺れる日本の暮らし」ノレンでエコ 加藤 隆司



The Y's Men's Club of
Kyoto Tops

8月強調月間

Youth Activities

ユースに語りかけよう！ 夢と希望を！

| | 第一例会出席 | B F ポイント | スマイル | ファンド | 献 血 | |
|------------------|--------------------|--------------|------|------------|-------------|--------------|
| 7 月 報 告 | メンバー数 (広義会員1名含) | 33名 現金 切手 | 0円 | 7月 21,300円 | 7月 10,000円 | 7月 0cc |
| | 出席メンバー | 32名 | | | | |
| | ゲスト | 0名 | | | | |
| | メ ネット | 0名 | | | | |
| | メーキャップ | 0名 | | | | |
| | 出席率 | 97.0% | 累 計 | 0円 | 累 計 21,300円 | 収益累計 10,000円 |

キックオフ例会

～メンバー増強とインフレと人工衛星～

ドライバー委員長 平間正昭 ys



36名の例会となると席の配置を考えないとネ。また喫煙コーナーの椅子もなんとかしてあげなくっちゃ！と増殖し続けるトップスの人数にコレまでのドライバー委員長の考え方ではタイムスケジュールにも支障をきたすのではと心配事が人工衛星のように頭の中をぐるぐるぐるぐる。

トップス17期は新しく4人のメンバーを迎えて33名の体制で始まりました。またメンバーゲストも5人お迎えして何処から見ても上り調子のクラブです。30名になっても各委員会は機能しているし、今期からは若いメンバーが委員長に就任し活気有るクラブになったような気がします。でも油断は禁物。高い経済成長がインフレをもたらすように人数が増えるとそれだけ人の心も増えますからナニかと問題も発生するかもネ。一人一人はトップスクラブを中心に回る人工衛星のようなもの。メンバー全員の心をトップスクラブの強い引力圏に引き付けたま沢山の活動に多くのメンバーが参加できるような1年にしましょうネ。そのためには一人一人がトップスクラブが魅力有るクラブになるように心がけるようにしましょう。そんな事を考えていたキックオフ例会でした。・・・それにしても、ダレだいきなり例会のタイムスケジュールを狂わせたのは！ベラベラと思いつきでスピーチをだらだらと、来月からスピーチと委員会報告と三役からの報告は1分にしてみる！



リトセン夏の準備ワーク2010

Yサ委員長 宮尾勝巳 ys

例年になく朝から蒸し暑い日でした。それでもトップスからは新メンバー寺内さんノーマル河原さん倉会長以下いつもの賑やかなメンバーが集まりました。以下紹介いたしましょう。

熱中症が心配でしたが最後まで全力投球だった乙坂さん、草刈機を操作させるとアブノーマル河原氏より上手いのではと思われるニヤマさん、最近遅刻魔の船木さん、なにかと新人メンバーに声掛けし気配りしていた千賀さん、良く冷えたビールを抱えて来てくれた廣田直前会長、だんだんトップスに毒されてきた舞田さん、いつも呑んでくれている平間さん、そしてナニが気に入らなかったのか最後まで草刈機で手直しをしてくれた笠井さんの12名が奮闘してくれました。

ワーク前に久保田さんからの諸注意の中で『アルコールは禁止です』のお言葉がありましたが・・・その時にはもうトップスメンバーは各1本づつ飲んでおりました(もっと早く言ってくれ)しかしいくら呑んでもする事はちゃんとやる！やることはキッチリやる！骨折しているあの方や、靭帯伸ばしているアノ人の分まで12名で頑張りました！

どんな困難な状況でも力をあわせ、和気藹々と活動をするというトップスのカラーが定着してきたようでYサ委員長のワタクシは大変嬉しく思います。作業終了時、梅雨空から少しだけのぞいた青空に、今年の夏このリトリートセンターで少年少女の元気な弾ける声が聞こえてきそうで汗も一気に吹き飛びました。集まってくれたワイズメンズクラブみなさんありがとう。キャピタルクラブのみんさん美味しいカレーライスごちそうさまでした。



写真は語る

倉 卓也 ys

写真は約35年ほど前の私です。3歳ぐらいかな？動物園か植物園で撮影されたものとおもいます。

昭和47年9月24日に倉家の男三兄弟の長男として生まれました。長男でもあり初孫という事もあり倉家での私への溺愛ぶりはすごかったみたいです。当時、いろいろな物をたくさん買ってもらいましたが、その中でも五月人形は今でも毎年私の息子の為に飾られますし、鯉のぼりも五月になると空を気持ちよく泳いでいます。自分から息子に引き継がれた五月人形などを見ると『歴史』というモノを感じます。今回、この企画を千賀ブリテン委員長からお聞きして、すごく久しぶりに昔のアルバムを探し出して、見ることが出来ました。

家族で昔のアルバムを見ていると「あんなことがあった」とか「この頃はこんなんやった」という想い出話に花が咲き、とても良い時間を過ごすことが出来ました。また、やはりDNAというのは受け継がれていると申しましょうか自分の息子とそっくりな写真も出てきたりし、「コイツも大きくなったら、俺み



たいになるのか？」と思わず息子の顔を見つめてしまいました。幼い頃のアルバムを見て自分の息子そっくりな自分がいろんな所で、いろんな季節に、いろんな人と写っているたくさんの写真を見ると、今、自分がわが子を想うのと同じように両親や祖父母などから愛されていたことが良くわかります。

今回、千賀委員長よりとても良い機会をいただき、改めて両親やおじいちゃん達に感謝したいと思いました。次は委員長より誰に声がかかるかわかりませんが、皆さんも昔のアルバムを引っ張り出すときは家族そろって見ることをおすすめします。楽しいですよ。

藤田 正康 ys



この1枚は、今期ファンド委員長の高坂ys発案による写真ファンドの見本版です。この出来映えに、もちろん即購入いたしました。プロの技術の素晴らしさを実感し、最初で最後のモデル体験もさせていただきました。

自分のシワー本一本を見ていると、東京向島で生を受けこの京都に暮らしを得た齢63年の想い巡らせ、両親の離婚、妹との別れ祖父母に育てられた日々、二十(はたち)でかけがえのない女性との京都での出会い、結婚。以来43年この京都に安住の地を得て私の道を歩んできました。その中でトップスの素晴らしい仲間との出会いは私にとって大切なものでした。人生のもうひとつの喜びをメンバーみんなからもらいました、いや貰い続けています。

改めて写真を見ると、視線の先は何をみているのだろうか、、、。老後？いやいや恋の予感(玉置浩二に負けない象さんおはながながいのね)これから先、どうなるかわからないけれど一日一日を大切に生きようと

想い新たにさせてくれる写真です。そして毎日语りかけよう(お前さん今日一日悔いなく行こうぜ！ - 正康！今日はどうだった？明日も人生楽しもうぜ！) <完>

6月に東山荘で開催されたYMCAのセミナーで、あるお医者さんから「日々、オロオロしています」というお話をうかがいました。これは医療技術上のことではなく、重い病気をもつ患者さんやご家族の方々が抱える課題に直面し、その方々と同じようにその課題に向かい合うときにオロオロしてしまうというのです。それでも、無関心を装ったり素通りしてしまわず、共に悩み、ひとつでも解決策を見いだそうとオロオロすることで、チーム医療や病院全体、地域の取り組みとしての解決策が見えてくるということを示唆されていました。

さて、私たちのYMCAの事業では活動体験を通して、その根幹にある「共感すること」を学びます。自分とは異なる他者の存在を知り、自分自身の課題を共に考えてくれる他者の存在、自分と同じ課題をもつ仲間がいること、他者に無関心ではいられない体験をすることを通して学びます。日常生活では大人や専門家が考える解決策へ最短経路で導こうとする傾向があるなかで、共感していっしょにオロオロしてくれる人が傍らにいるということを知るのとはすばらしい体験であり、気づきといえます。

YMCAの事業を通して、子どもたちや青年一人ひとりが、自分の周りや社会で起こっていることを三人称で見るのではなく、一人称、二人称でとらえることができれば、社会は大きく変革すると確信しています。

1. ワイズワーク感謝!

6月27日(日)にはリトリートセンター開設ワーク、7月4・11日(日)にはサバエキャンプ場開設ワークのご奉仕、多くのワイズメンのご協力ありがとうございました。おかげさまで、夏のプログラムも順調にスタートすることができました。“多くの子供たちに素敵な夏を”とYMCAスタッフ、ボランティアリーダー一同、プログラムの工夫やトレーニングに懸命にがんばっております。また、9月5日(日)にはリトリートセンター秋期準備ワークを予定しております。よろしくお願い致します。

2. 後期募集のお知らせ

グローバルアウトドアクラブ・スイミング・体育、一般の方の後期募集がはじまります。お知り合いの方でご興味のある方がいらっしゃいましたら是非お勧めください。ご継続の方で定員に達しているクラスもございます。詳しくはお問い合わせください。

グローバルアウトドアクラブ

9月8日(水)から受付 電話(075)231-4388
スイミング・体育

9月8日(水)から受付 電話(075)255-4709 **3. 京都YMCAチャリティーコンサート**

『笛と歌で綴る世界の旅』収益金は、インドのハンセン病患者・家族支援と京都YMCA公益活動費に使われます。

曲目トルコ行進曲・ハンガリー舞曲・誰も寝てはならぬ・千の風になって他

出演 笛・テノール 楊雪元(ようせつげん)中国天津市生まれ。中国長春大学特殊教育学院中国笛専攻卒業。京都市立芸術大学大学院修士課程音楽専攻修了。中国民族管弦楽学会竹笛委員会名誉理事。

ピアノ 西村彩(にしむらあや)京都市立芸術大学音楽部卒業、同大学院修士課程修了。京都市青少年合唱団指導員。ピアノ教室「音の翼」主宰。京都市立芸術大学音楽部卒業、同大学院修士課程修了。京都市青少年合唱団指導員。ピアノ教室「音の翼」主宰。

日時 9月11日(土)午後2時開演(午後1時30分開場)
場所 京都市北文化会館ホール(キタオオジタウン内・市営地下鉄北大路駅下車1番出入口)
チケット前売り2,000円(当日2,500円) 三条本館にて販売しております。お問合せは京都YMCA 三条本館(075-231-4388)まで

4. ボランティアセミナーのご案内

がん患者さんとそのご家族へ 第43回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 8月21日(土)午後7時~9時

場所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お一人300円

お申込は京都YMCA 電話(075)231-4388

またはvb@kyotoymca.or.jp

スケジュール

8月

- 8月5日(木) 国際大会 横浜
- ~8日(日)
- 8月11日(水) ビヤホール例会
- 8月25日(水) 役員会
- 8月29日(日) ZEROクラブチャーターナイト

編集後記

お待たせいたしました。シリーズ「写真は語る」が始まりました。さて、記憶は抱き合わせです。一つだけでは記憶とならず、物事はセットで記憶されます。たとえばある歌を聞いた時、その当時の記憶が突然よみがえって来ます。皆さんもそのような体験が時々お有りだと思います。この場合、歌と記憶がセットされています。もちろん映像も同様です。「写真は語る」はそんな思いで企画しました。

倉会長:周囲の人達に愛されていたことがこの写真で想像できます。左側の写真は、乗り物に乗っているのが植物園ではなく動物園でしょう。半袖で野球帽をかぶっているのが季節は夏。右側の写真は長袖を着ているので同年の春か秋だと思いますが左側の写真より少し幼い感じがします。成長具合から推測するとその年の春の植物園での一枚ではないでしょうか。こんなかわいい男の子がいたらすぐに抱っこしてしまいそうですが、現在は身長179cm、体重83kgと成長してしまったので、抱っこすると腰椎断裂ですね。

藤田ys:「男は自分の顔に責任を持たねばならない。」なんて言葉を聞いた事がお有りだと思います。「ダンディーで洗練があり、そしてちゃんと神様から与えられた苦勞を乗り越えてきた男の顔だ。いったいどのモデルなんだ?」なんて本人に言うと、途端に顔が崩れてしまうので決して言わない事と致しましょう。その素晴らしさを引き出すプロは、ファンデ委員長高坂ysです。写真ファンでこんなプロに写真を撮ってほしいと思いませんか?話は変わりますが、私が女ならばこの写真の男の人とちょっと付き合ってみたく思います。

ブリテン委員長 千賀俊男